

3. 就業に対する意識について

(1) 働いている理由

： (1) 現在、働いている一番の理由は何ですか。【1つに○】

働いている一番の理由については、「家計を支える中心であるため」が47.7%と最も多く、次いで「家計を補う(助ける)ため」(28.9%)、「社会の一員としての務めを果たすため」(6.6%)の順となっている。

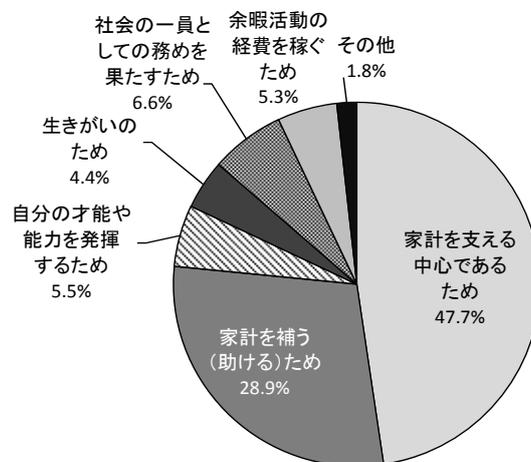
前回調査との比較では、「家計を支える中心であるため」と「家計を補う(助ける)ため」の割合が微増している。

性別で見ると、〈男性〉は「家計を支える中心であるため」の割合が71.0%と最も高く、〈女性〉は「家計を補う(助ける)ため」の割合が45.6%と最も高い。

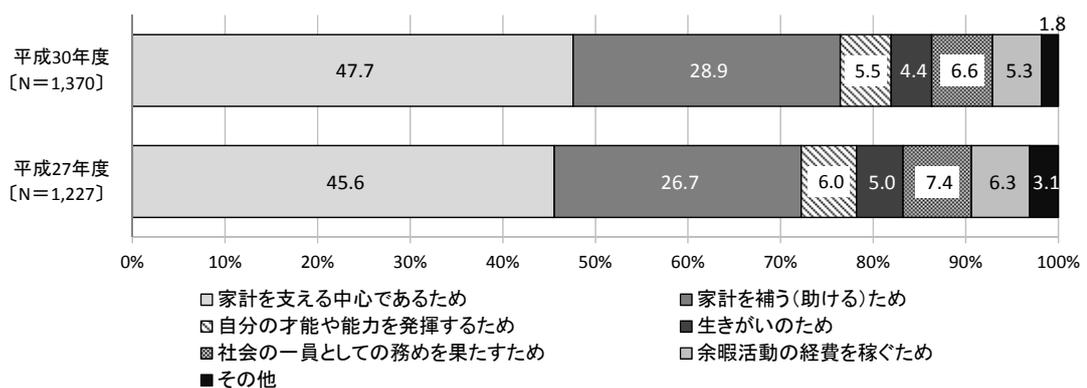
性別・年代別で見ると、〈男性〉では25歳以上69歳以下で「家計を支える中心であるため」の割合が最も高いが、〈70歳以上〉で「生きがいのため」の割合も比較的高くなっている。〈女性〉では〈20～24歳〉で「家計を支える中心であるため」の割合が最も高いが、25歳以上69歳以下で「家計を補う(助ける)ため」の割合が最も高くなっている。また、〈70歳以上〉で「生きがいのため」の割合が最も高くなっており、〈男性〉の〈70歳以上〉と同様の傾向がみられる。

正規・非正規の別で見ると、〈正規〉、〈自営業 他〉では「家計を支える中心であるため」の割合が最も高く、〈非正規〉では「家計を補う(助ける)ため」の割合が最も高くなっている。

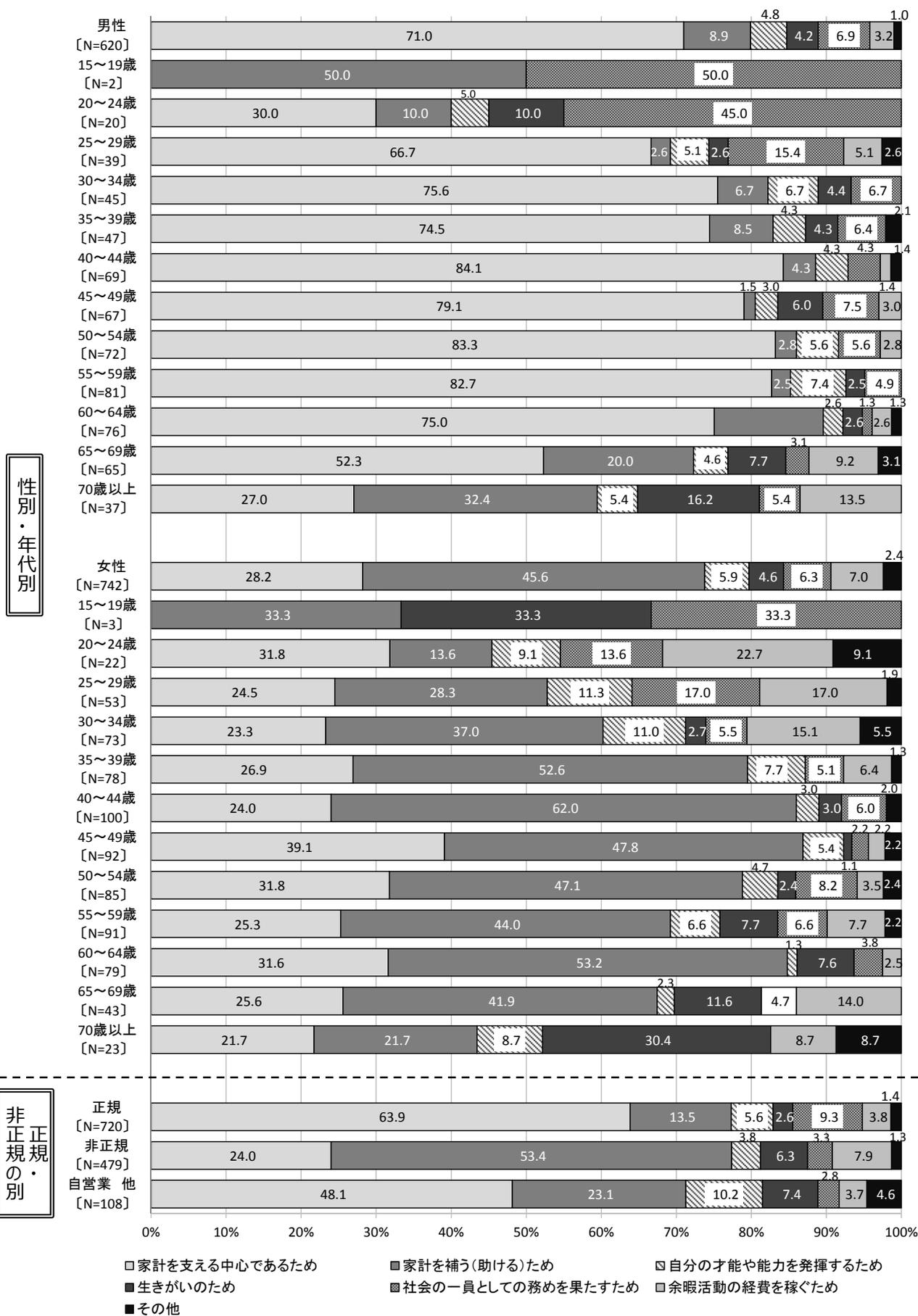
■働いている理由〔回答数=1,370〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（働いている理由）】



(2) 仕事の満足度

… (2) 現在の仕事に満足していますか。【1つに○】 …

仕事の満足度については、「どちらとも言えない」が43.4%と最も多く、次いで「満足している」(42.3%)、「満足していない」(14.3%)の順となっている。

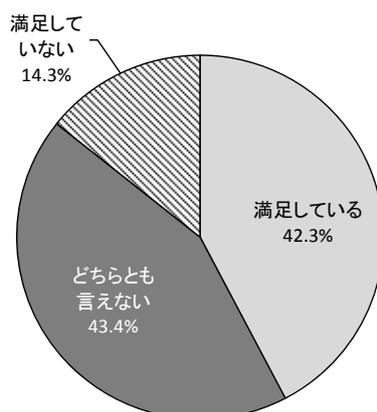
前回調査との比較では、「どちらともいえない」の割合が3.5ポイント増加し、前回最も高かった「満足している」の割合を上回っている。

性別で見ると、〈男性〉は「満足している」の割合が最も高く、〈女性〉は「どちらとも言えない」の割合が最も高くなっている。

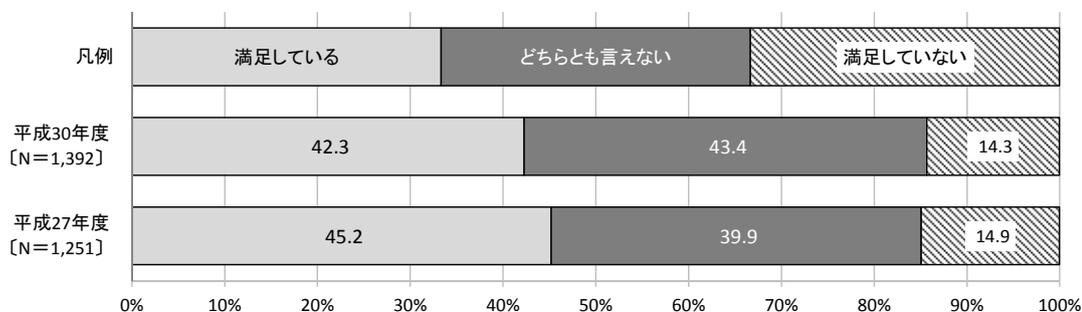
性別・年代別で見ると、〈男性〉では20歳以上49歳以下で「どちらとも言えない」の割合が最も高く、50歳以上で「満足している」の割合が「どちらとも言えない」の割合を上回っている。〈女性〉では15歳以上24歳以下と〈65歳～69歳〉を除く50歳以上の年代で「満足している」の割合が最も高くなっている。

正規・非正規の別で見ると、〈正規〉〈非正規〉ともに「どちらとも言えない」の割合が高くなっているが、〈自営業 他〉では「満足している」が6割以上を占めている。

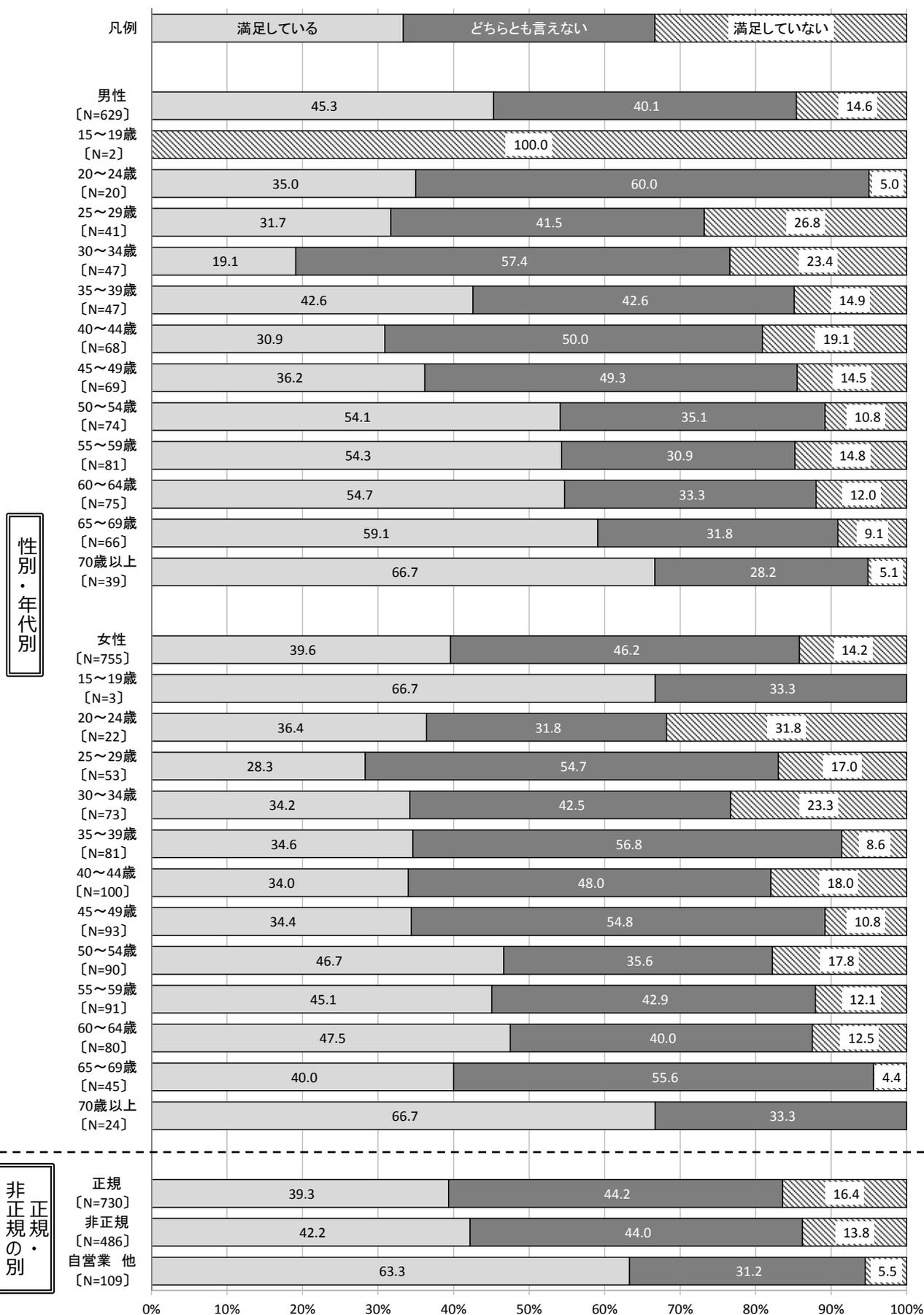
■仕事の満足度〔回答数=1,392〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（仕事の満足度）】



(3) 仕事に満足している理由

： (3) 現在の仕事に対して満足している大きな理由は何ですか。【いくつでも○】
 ：

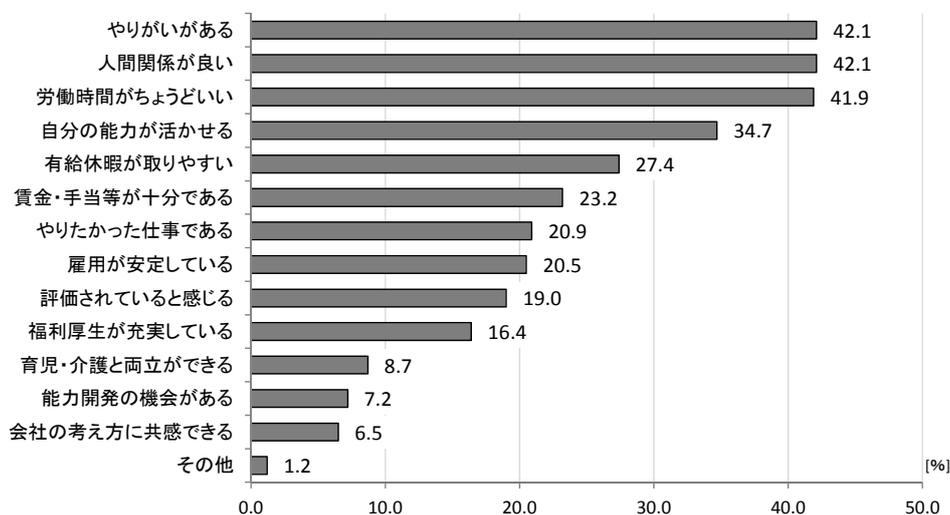
仕事に満足している理由については、「やりがいがある」と「人間関係がよい」が42.1%と高く、次いで「労働時間がちょうどいい」(41.9%)の順となっている。

前回調査との比較では、「人間関係がよい」の割合が6.4ポイント、「労働時間がちょうどいい」の割合が5ポイント増加している。

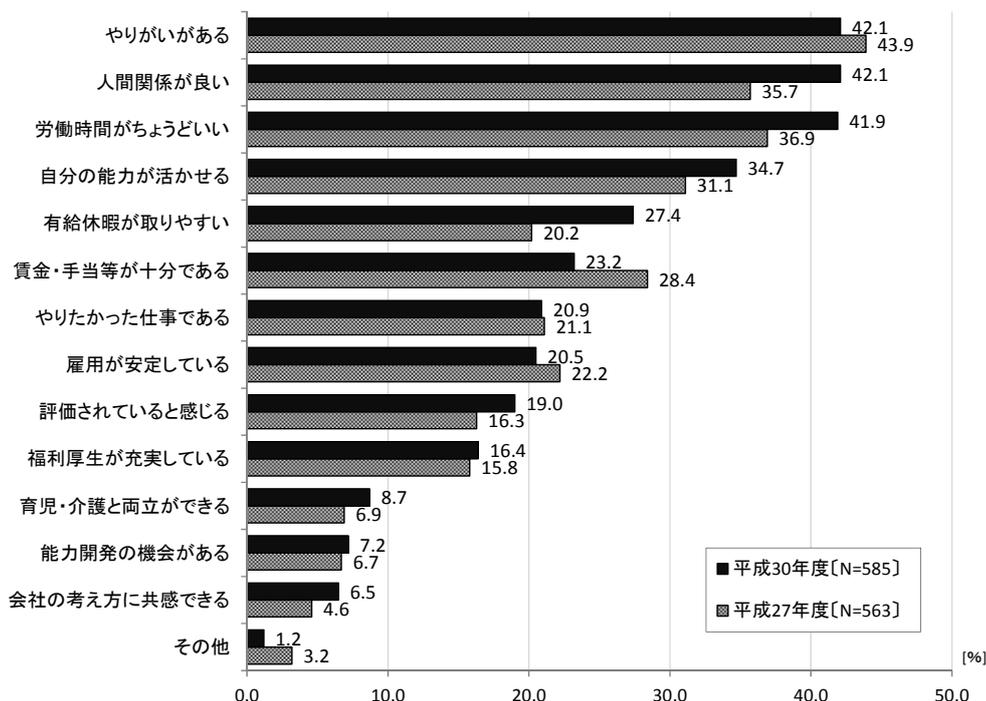
性別でみると、〈男性〉は「やりがいがある」の割合が最も高く、「自分の能力が活かせる」の割合も高い。また、〈女性〉に比べ、「評価されていると感じる」の割合が高く、「有給休暇が取りやすい」の割合が低い。〈女性〉は、「人間関係が良い」が5割を超えている。

正規・非正規の別でみると、〈正規〉〈自営業 他〉では「やりがいがある」の割合が高く、〈非正規〉では「労働時間がちょうどいい」が6割を超えている。

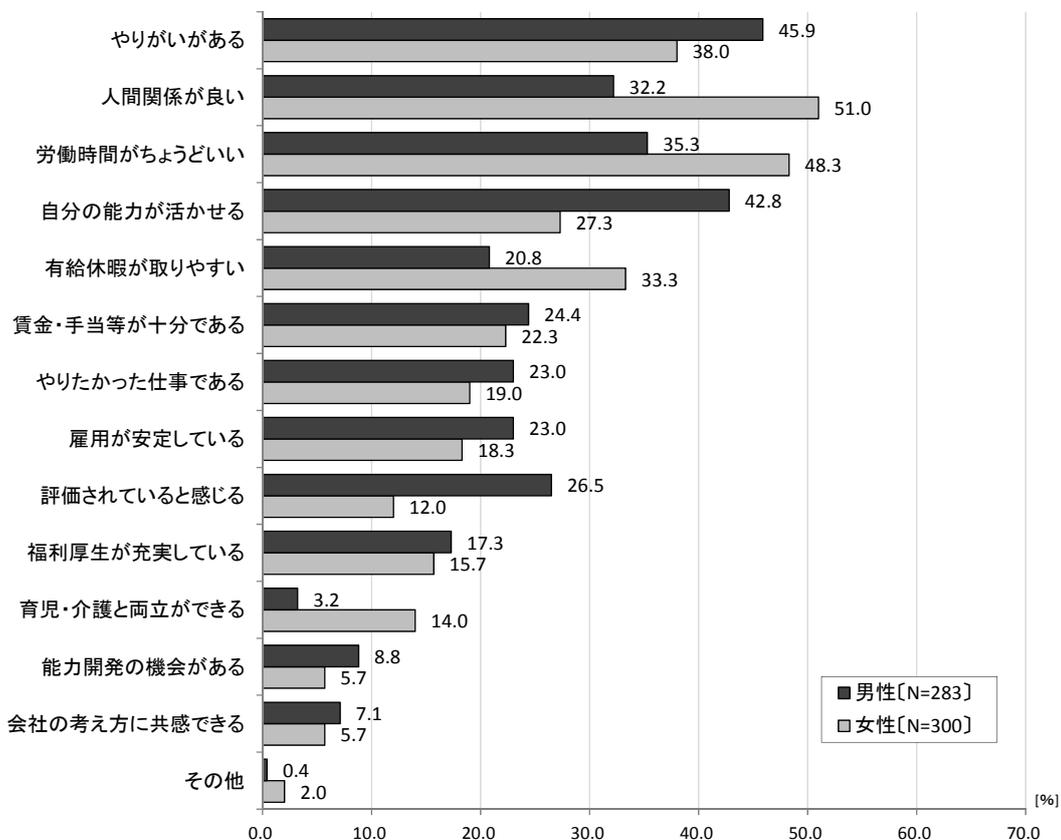
■仕事に満足している理由〔回答数=585〕



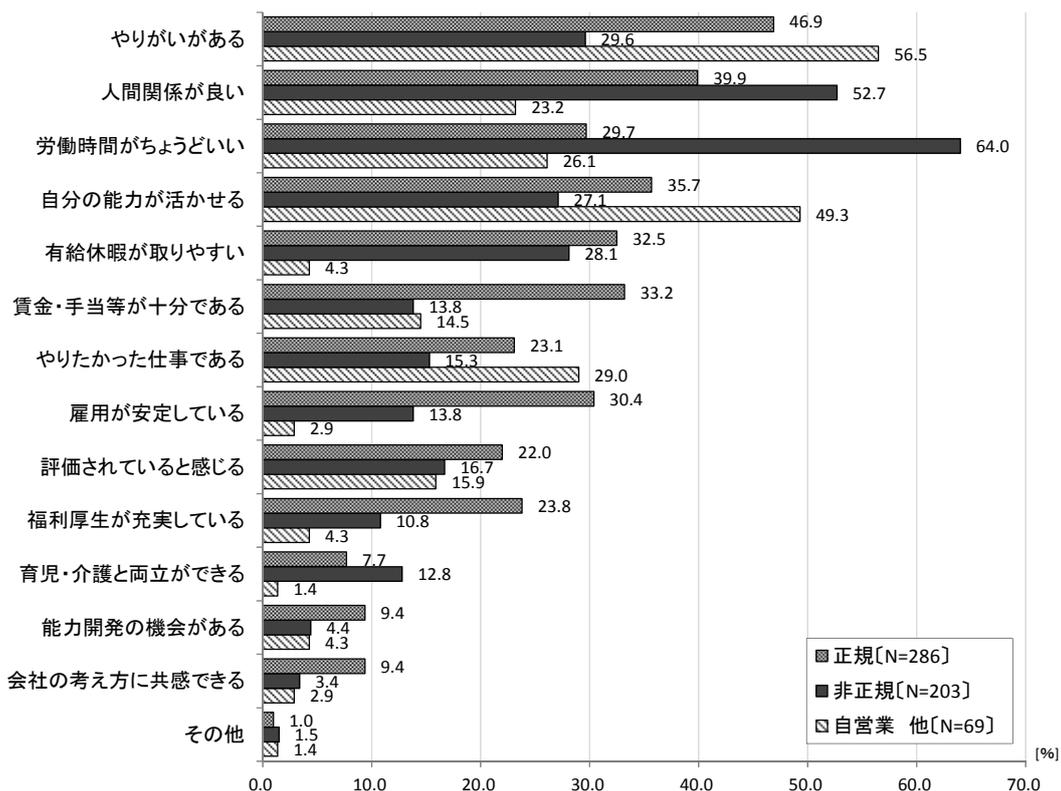
【前回調査との比較】



【性別（仕事に満足している理由）】



【正規・非正規の別（仕事に満足している理由）】



(4) 仕事に満足していない理由

： (4) 現在の仕事に満足していない大きな理由は何ですか。【いくつでも○】

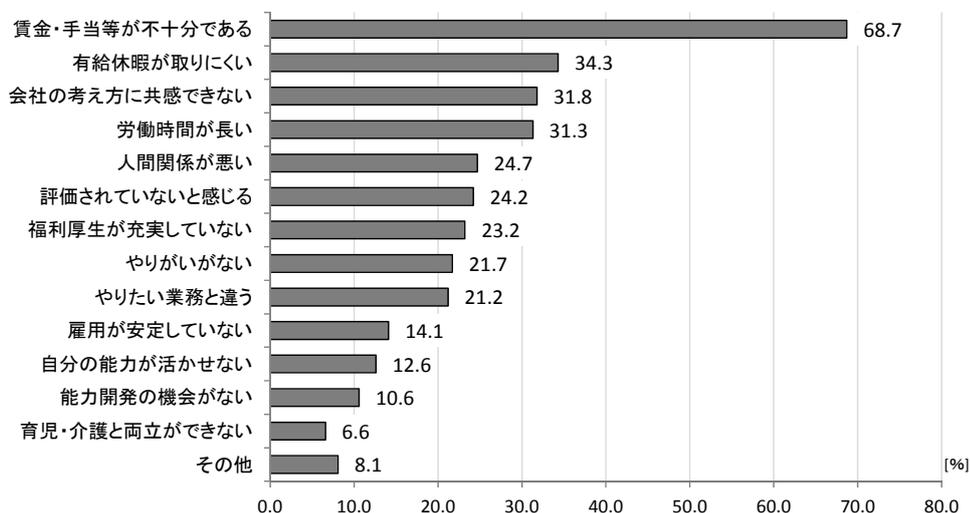
仕事に満足していない理由については、「賃金・手当等が不十分である」が68.7%と最も高く、次いで「有給休暇が取りにくい」(34.3%)、「会社の考え方に共感できない」(31.8%)の順となっている。

前回調査との比較では、特に大きな差は見られない。

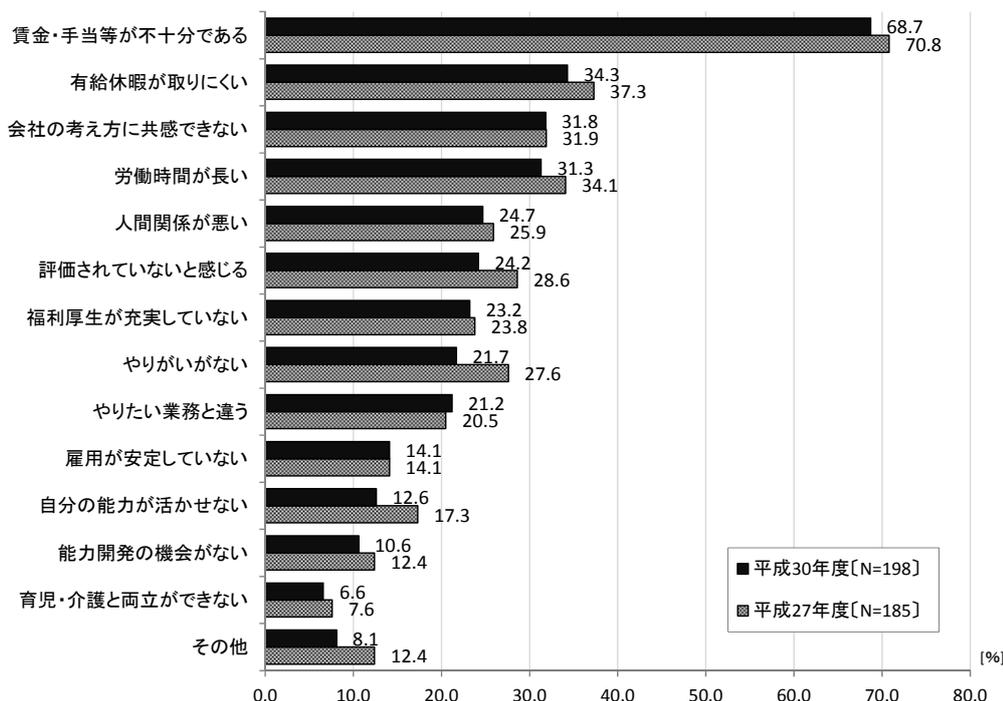
性別でみると、〈男性〉は〈女性〉に比べ、「有給休暇が取りにくい」、「労働時間が長い」の割合が高くなっている。

正規・非正規の別でみると、〈自営業 他〉で「賃金・手当等が不十分である」が8割以上と高く、「労働時間が長い」も5割を超えている。〈正規〉は〈非正規〉と比べ、「有給休暇が取りにくい」、「労働時間が長い」の割合が高くなっている。

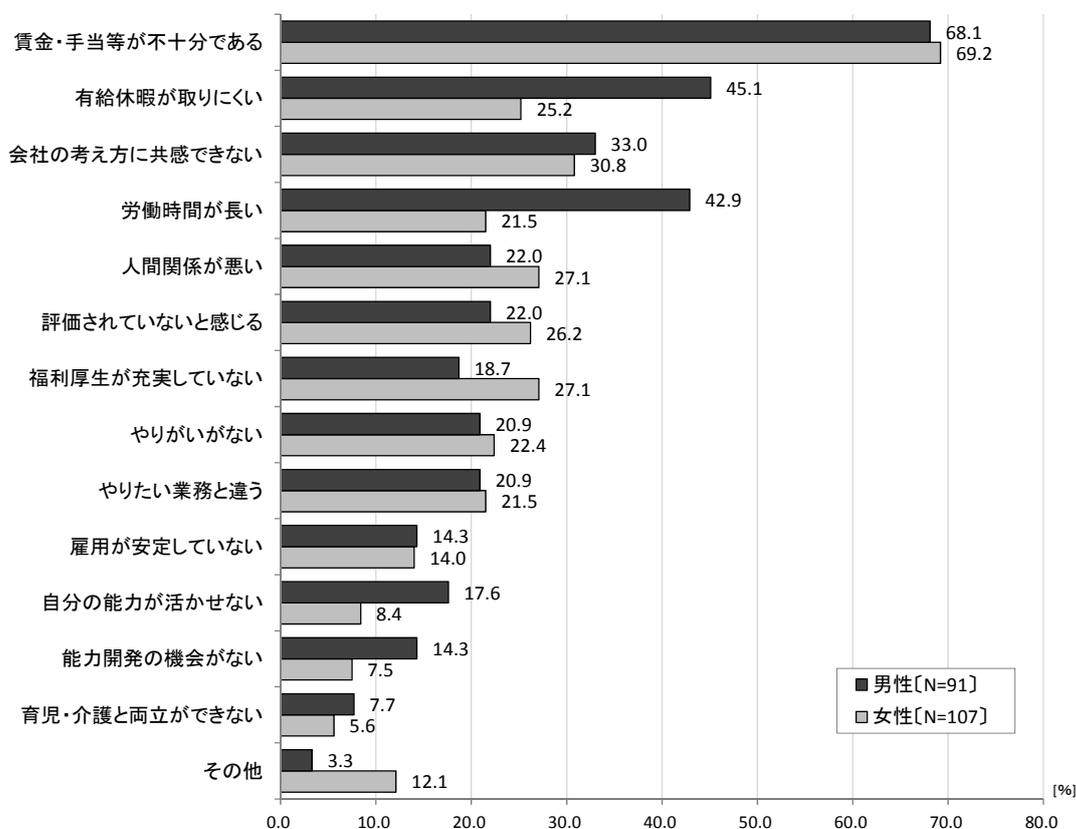
■仕事に満足していない理由〔回答数=198〕



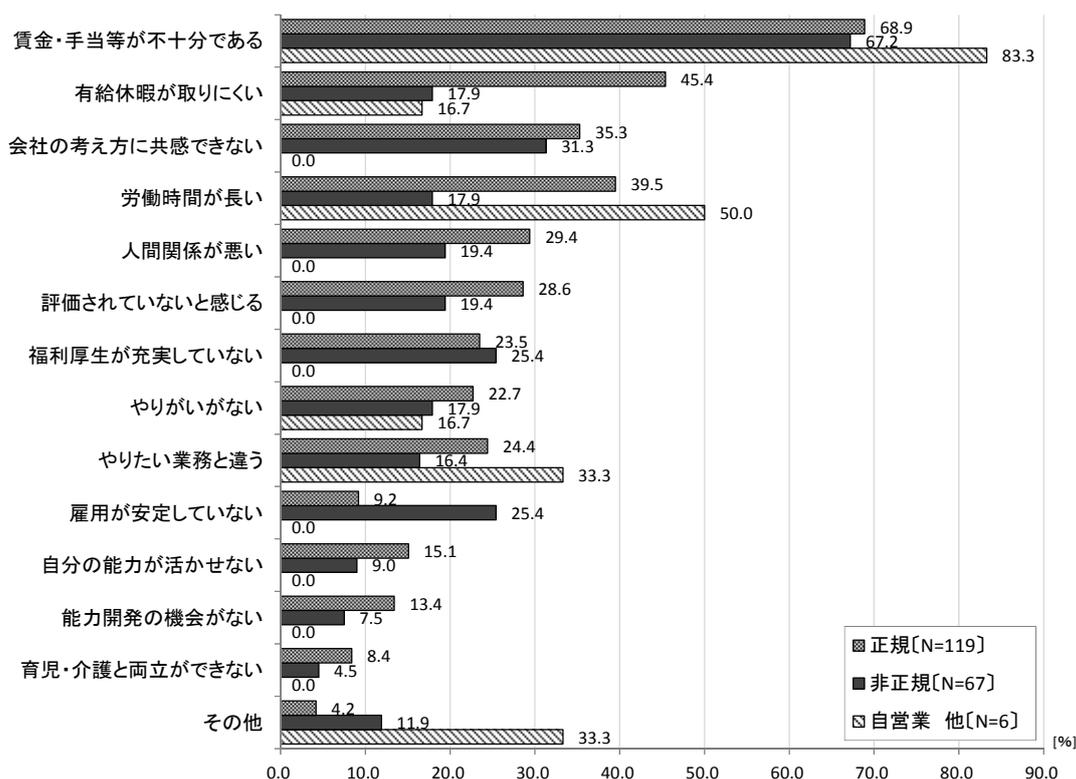
【前回調査との比較】



【性別（仕事に満足していない理由）】



【正規・非正規の別（仕事に満足していない理由）】



(5) 長く働くために有効だと思う会社の取組

： (5) あなたが今の職場で長く働くために、最も有効だと思う会社の取組は何ですか。
 ： 【1つに○】

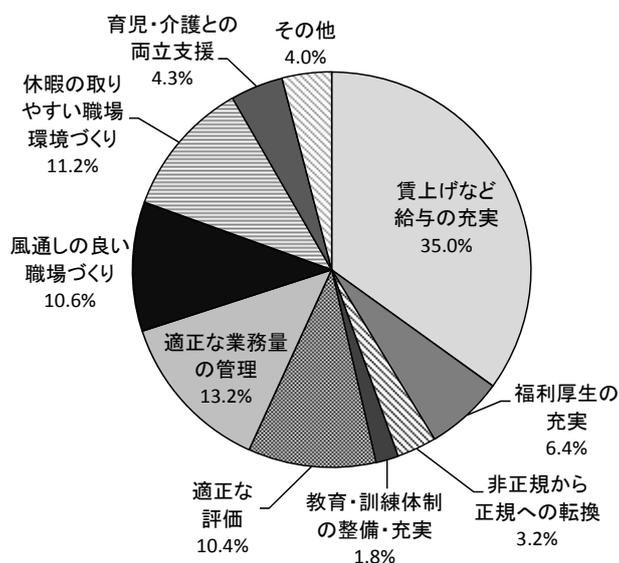
長く働くために最も有効だと思う会社の取組については、「賃上げなど給与の充実」が35.0%と最も多く、次いで「適正な業務量の管理」(13.2%)、「休暇の取りやすい環境づくり」(11.2%)の順となっている。

性別で見ると、〈女性〉は〈男性〉に比べ、「休暇の取りやすい職場環境づくり」の割合が高くなっている。

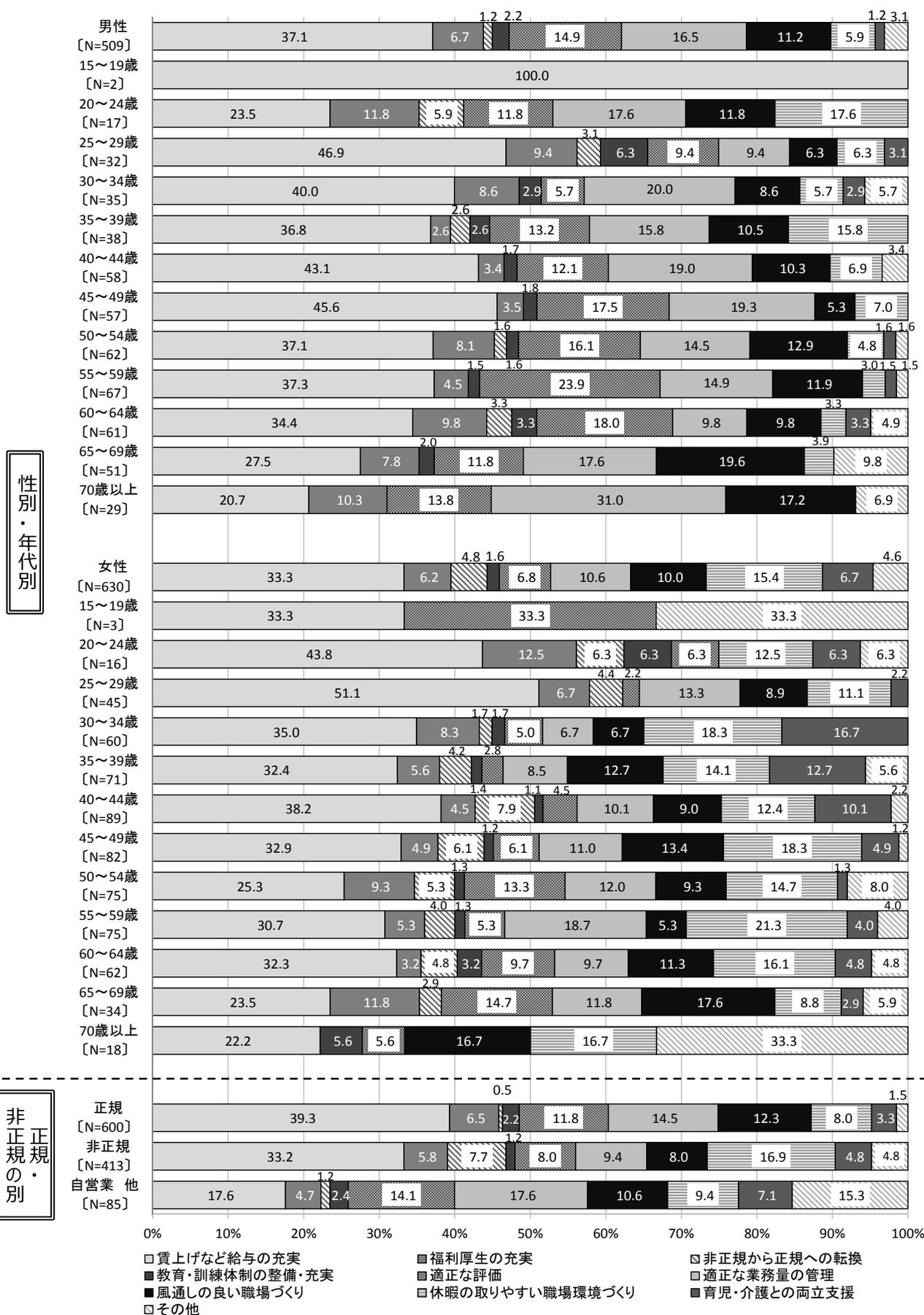
性別・年代別で見ると、〈男性〉の35歳以上64歳以下で「適正な評価」の割合が、〈女性〉の30歳以上44歳以下では「育児・介護との両立支援」の割合が比較的高くなっている。

正規・非正規の別で見ると、〈非正規〉は〈正規〉〈自営業 他〉に比べ、「休暇の取りやすい職場環境づくり」の割合が高くなっている。

■ 長く働くために有効だと思う会社の取組〔回答数 = 1,146〕



【性別・年代別／正規・非正規の別（長く働くために有効だと思う会社の取組）】



(6) 就労希望年齢

： (6) 今後、あなたは何歳まで働きたいとお考えですか。【1つに○】

今後何歳まで働きたいかについては、「働けるうちはいつまでも」が38.5%と最も多く、次いで「61歳～65歳」(26.3%)、「60歳」(14.4%)の順となっている。

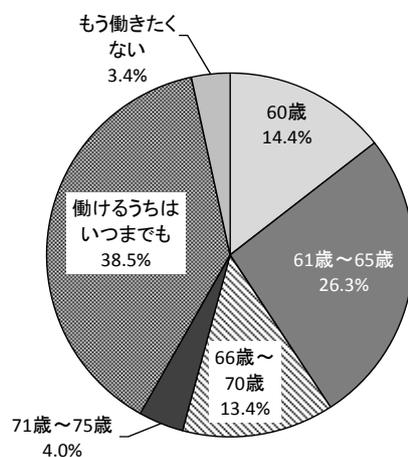
前回調査との比較では、「働けるうちはいつまでも」の割合が2.3ポイント増加している。

性別で見ると、〈男性〉は「61歳～65歳」の割合が最も高く、〈女性〉は「働けるうちはいつまでも」の割合が最も高くなっている。

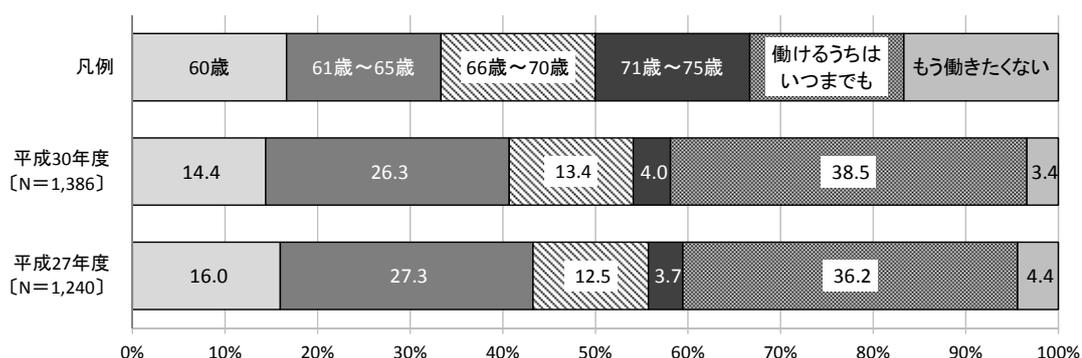
性別・年代別で見ると、「働けるうちはいつまでも」の割合について、64歳までは〈女性〉が〈男性〉を上回っているが、65歳以上では〈男性〉が〈女性〉を上回っている。

正規・非正規の別で見ると、「働けるうちはいつまでも」の割合が、〈自営業 他〉で最も高くなっている。

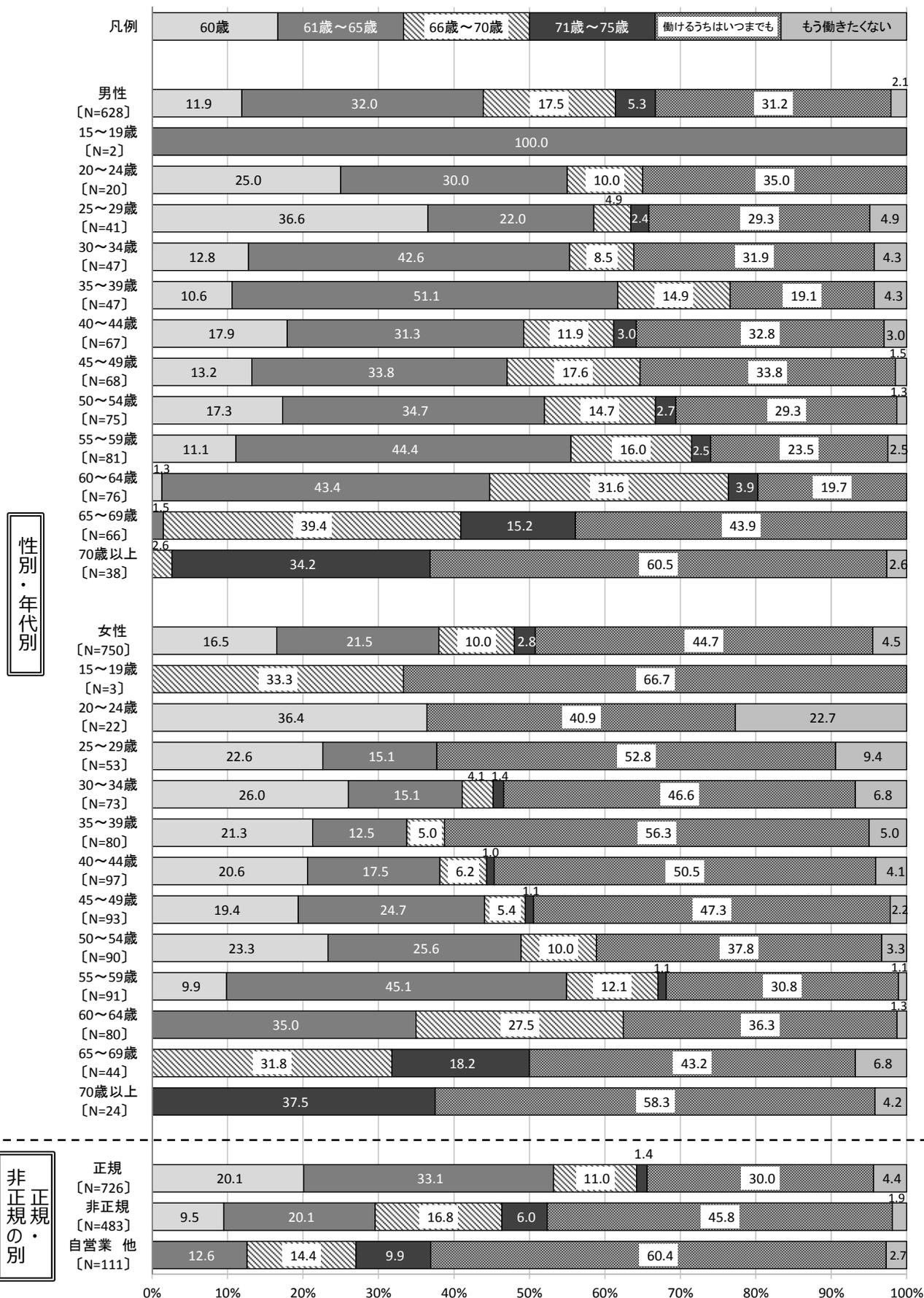
■ 就労希望年齢〔回答数=1,386〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（就労希望年齢）】



(7) 自己成長のために有効だと思う取組

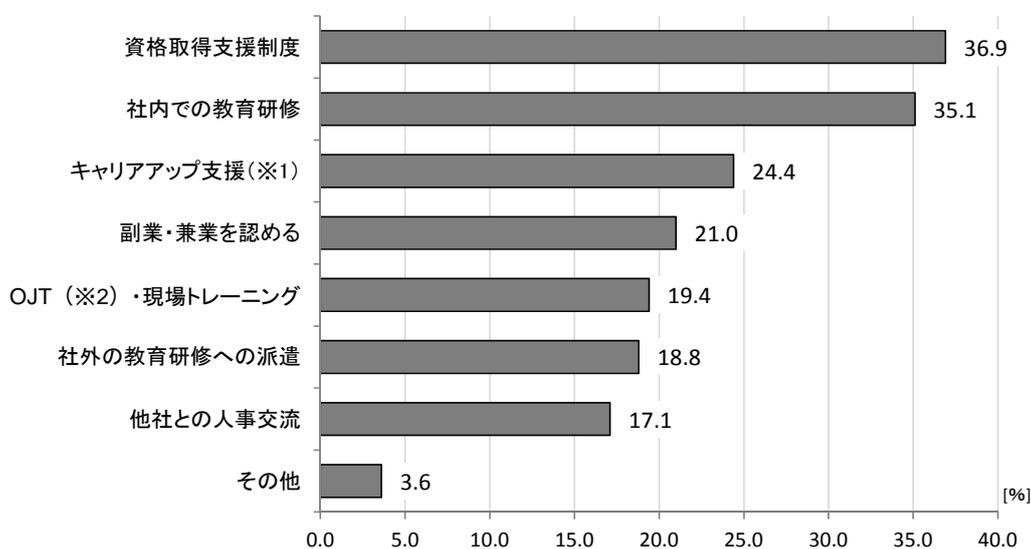
： (7) 働く上で自分自身の成長のために有効だと思う取組は何ですか。【いくつでも○】 。

自己成長のために有効だと思う取組については、「資格取得支援制度」が36.9%と最も高く、次いで「社内での教育研修」(35.1%)、「キャリアアップ支援」(24.4%)の順となっている。

性別で見ると、〈女性〉は〈男性〉に比べ、「社内での教育研修」の割合が高くなっている。

正規・非正規の別で見ると、〈非正規〉は〈正規〉、〈自営業 他〉に比べ、「社内での教育研修」の割合が最も高く、〈他者との人事交流〉の割合が低くなっている。また、〈正規〉では「資格取得支援制度」の割合が高くなっている。

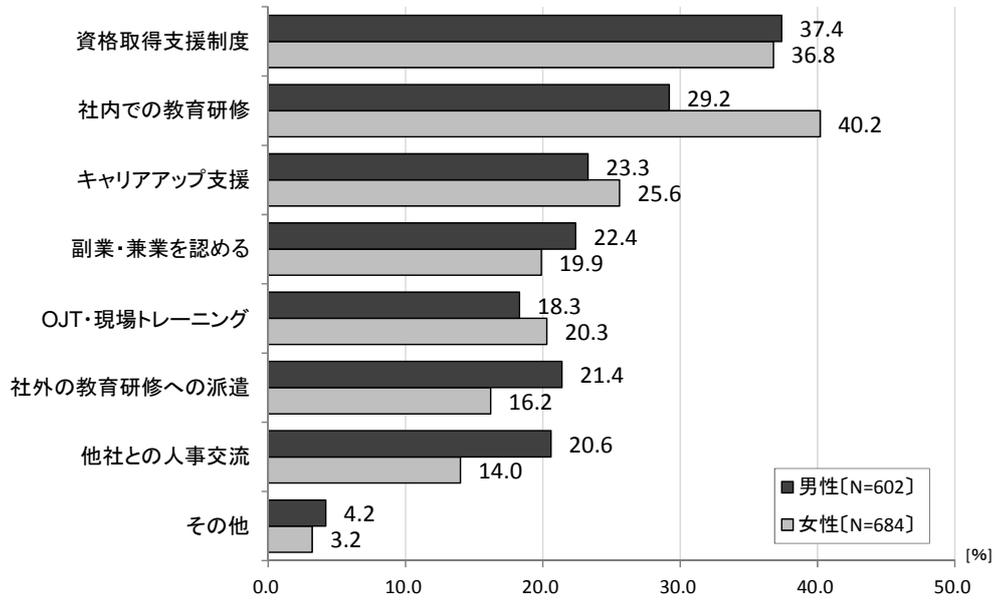
■ 自己成長のために有効だと思う取組〔回答数 = 1,289〕



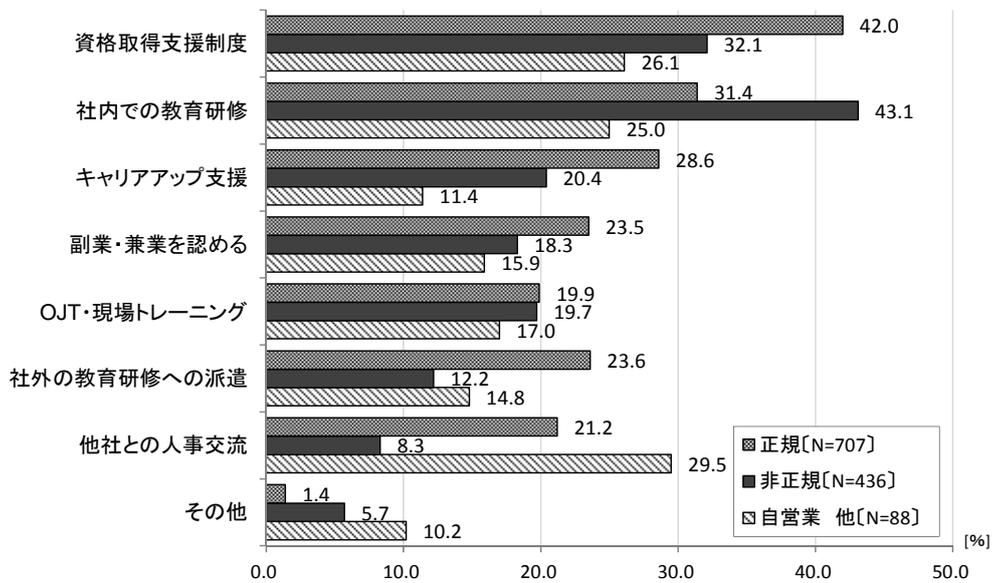
※1 キャリアアップ支援：本人の希望する異動等を申告できる仕組みや、キャリアカウンセリング等

※2 OJT：「On-The-Job Training」の略称。実際の職務現場において、業務を通して行う教育訓練

【性別（自己成長のために有効だと思う取組）】



【正規・非正規の別（自己成長のために有効だと思う取組）】



(8) 仕事と家庭生活の両立のために必要だと思うこと

： (8) 仕事と家庭生活の両立のために必要だと思うことは何ですか。【いくつでも○】
：

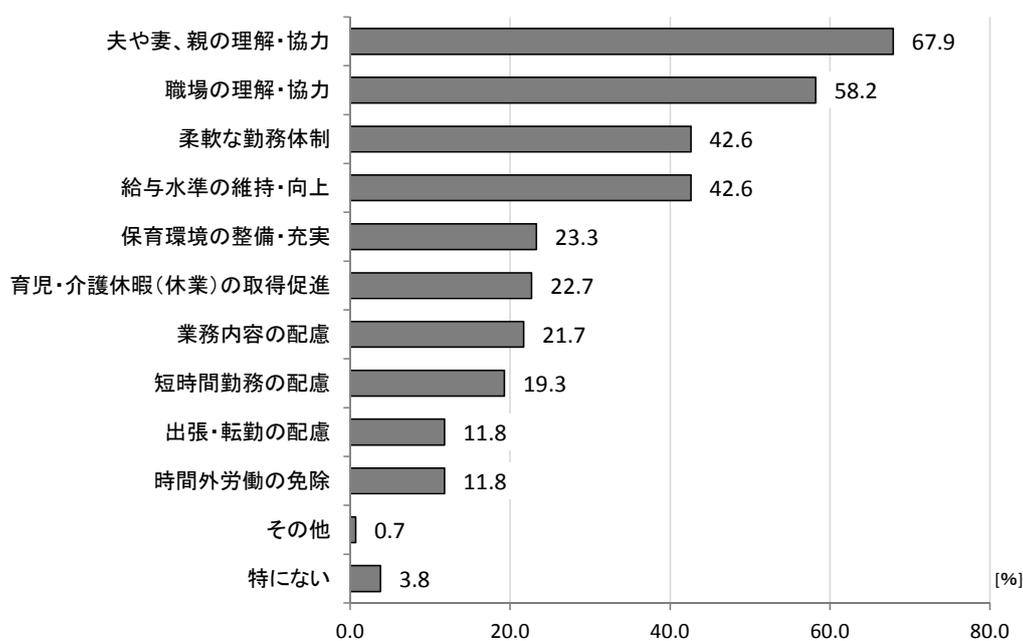
仕事と家庭生活の両立のために必要だと思うことについては、「夫や妻、親の理解・協力」が67.9%と最も高く、次いで「職場の理解・協力」(58.2%)、「柔軟な勤務体制」「給与水準の維持・向上」(ともに42.6%)の順となっている。

性別で見ると、〈男性〉〈女性〉ともに「夫や妻、親の理解・協力」の割合が最も高くなっている。

性別・年代別で見ると、〈男性〉では、いずれの年代でも「給与水準の維持・向上」を、〈女性〉では、30歳以上69歳以下で「柔軟な勤務体制」を必要だと思う割合が高くなっている。

正規・非正規の別で見ると、〈正規〉は〈非正規〉〈自営業 他〉に比べ、「給与水準の維持・向上」の割合が高くなっている。

■仕事と家庭生活の両立のために必要だと思うこと〔回答数=1,376〕



【性別・年代別／正規・非正規の別（仕事と家庭生活の両立のために必要だと思うこと）】

※■は第1位、■は第2位、■は第3位の項目

	上段:回答数 下段:回答割合 (%)	合計	夫や妻、 理解・協力の	保育環境の 整備・充実	職場の 理解・協力	業務内容の 配慮	給与水準の 維持・向上	柔軟な勤務 体制	短時間勤務 の配慮	時間外労働 の免除	(育児・ 介護 休業)の 取得促進	出張・ 転勤の 配慮	その他	特 に な い
男性	小計	627 100.0	383 61.1	110 17.5	333 53.1	128 20.4	322 51.4	216 34.4	68 10.8	56 8.9	102 16.3	77 12.3	6 1.0	31 4.9
	15～19歳	2 100.0	1 50.0	-	-	-	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-
	20～24歳	20 100.0	9 45.0	4 20.0	12 60.0	3 15.0	14 70.0	6 30.0	2 10.0	5 25.0	6 30.0	3 15.0	-	2 10.0
	25～29歳	40 100.0	27 67.5	17 42.5	27 67.5	8 20.0	22 55.0	14 35.0	6 15.0	3 7.5	12 30.0	8 20.0	1 2.5	1 2.5
	30～34歳	47 100.0	32 68.1	18 38.3	35 74.5	10 21.3	32 68.1	19 40.4	5 10.6	4 8.5	12 25.5	8 17.0	-	1 2.1
	35～39歳	47 100.0	29 61.7	14 29.8	25 53.2	10 21.3	29 61.7	17 36.2	2 4.3	4 8.5	7 14.9	4 8.5	-	1 2.1
	40～44歳	69 100.0	46 66.7	18 26.1	43 62.3	17 24.6	42 60.9	19 27.5	11 15.9	12 17.4	10 14.5	13 18.8	2 2.9	1 1.4
	45～49歳	69 100.0	37 53.6	9 13.0	37 53.6	17 24.6	42 60.9	27 39.1	8 11.6	7 10.1	12 17.4	16 23.2	1 1.4	2 2.9
	50～54歳	74 100.0	53 71.6	7 9.5	39 52.7	11 14.9	37 50.0	23 31.1	6 8.1	7 9.5	10 13.5	16 21.6	-	3 4.1
	55～59歳	81 100.0	49 60.5	12 14.8	46 56.8	16 19.8	38 46.9	27 33.3	8 9.9	6 7.4	13 16.0	6 7.4	-	2 2.5
	60～64歳	75 100.0	40 53.3	5 6.7	32 42.7	20 26.7	31 41.3	28 37.3	9 12.0	4 5.3	13 17.3	1 1.3	1 1.3	4 5.3
	65～69歳	65 100.0	43 66.2	5 7.7	27 41.5	10 15.4	23 35.4	18 27.7	6 9.2	2 3.1	7 10.8	1 1.5	-	7 10.8
	70歳以上	38 100.0	17 44.7	1 2.6	10 26.3	6 15.8	10 26.3	17 44.7	4 10.5	1 2.6	-	1 2.6	1 2.6	7 18.4
女性	小計	741 100.0	543 73.3	209 28.2	466 62.9	170 22.9	261 35.2	367 49.5	197 26.6	106 14.3	208 28.1	83 11.2	3 0.4	21 2.8
	15～19歳	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-
	20～24歳	22 100.0	14 63.6	8 36.4	13 59.1	12 54.5	8 36.4	11 50.0	10 45.5	7 31.8	9 40.9	5 22.7	-	-
	25～29歳	52 100.0	40 76.9	27 51.9	38 73.1	16 30.8	22 42.3	25 48.1	14 26.9	12 23.1	20 38.5	13 25.0	-	2 3.8
	30～34歳	72 100.0	56 77.8	35 48.6	55 76.4	25 34.7	35 48.6	41 56.9	32 44.4	14 19.4	38 52.8	13 18.1	-	-
	35～39歳	81 100.0	68 84.0	39 48.1	62 76.5	19 23.5	35 43.2	51 63.0	30 37.0	16 19.8	35 43.2	12 14.8	1 1.2	-
	40～44歳	99 100.0	72 72.7	33 33.3	68 68.7	24 24.2	41 41.4	57 57.6	29 29.3	21 21.2	25 25.3	11 11.1	1 1.0	-
	45～49歳	91 100.0	72 79.1	23 25.3	67 73.6	17 18.7	35 38.5	45 49.5	19 20.9	11 12.1	24 26.4	10 11.0	-	-
	50～54歳	90 100.0	71 78.9	11 12.2	56 62.2	18 20.0	29 32.2	44 48.9	19 21.1	10 11.1	24 26.7	8 8.9	-	1 1.1
	55～59歳	90 100.0	70 77.8	17 18.9	49 54.4	18 20.0	23 25.6	44 48.9	18 20.0	8 8.9	18 20.0	8 8.9	-	-
	60～64歳	79 100.0	45 57.0	8 10.1	31 39.2	15 19.0	22 27.8	30 38.0	15 19.0	4 5.1	11 13.9	2 2.5	1 1.3	7 8.9
	65～69歳	42 100.0	27 64.3	6 14.3	21 50.0	5 11.9	7 16.7	17 40.5	8 19.0	3 7.1	3 7.1	1 2.4	-	4 9.5
	70歳以上	20 100.0	7 35.0	2 10.0	5 25.0	1 5.0	3 15.0	1 5.0	3 15.0	-	1 5.0	-	-	7 35.0
非正規の別	正規	726 100.0	489 67.4	202 27.8	469 64.6	168 23.1	377 51.9	303 41.7	129 17.8	105 14.5	169 23.3	115 15.8	4 0.6	12 1.7
	非正規	478 100.0	326 68.2	81 16.9	261 54.6	102 21.3	168 35.1	228 47.7	108 22.6	36 7.5	105 22.0	31 6.5	5 1.0	24 5.0
	自営業 他	108 100.0	76 70.4	20 18.5	37 34.3	14 13.0	26 24.1	36 33.3	15 13.9	8 7.4	22 20.4	8 7.4	-	12 11.1

(9) 女性であることが不利だと思うか

： (9) 働くうえで、女性であることが男性よりも不利だと思いますか。【1つに○】

働くうえで、女性であることが不利だと思うかどうかについては、「ややそう思う」が33.7%と最も多くなっており、次いで「あまり思わない」(31.6%)、「そう思う」(19.8%)の順となっている。

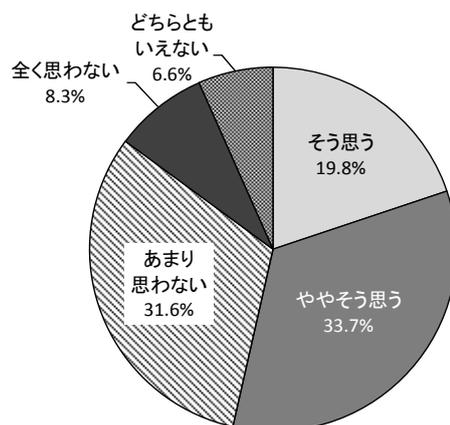
前回調査との比較では、「そう思う」の割合が5.2ポイント増加している。

性別で見ると、〈女性〉は〈男性〉に比べ、「全く思わない」の割合が低いが、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合にあまり差はない。

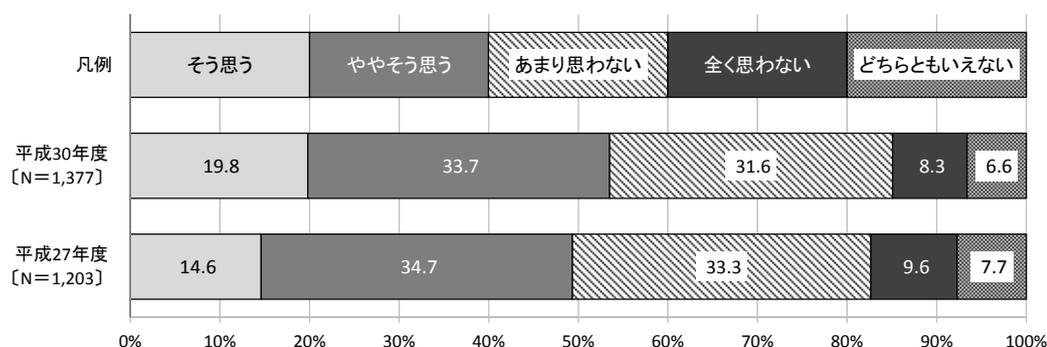
性別・年代別で見ると、〈女性〉では、20歳以上59歳以下で「そう思う」と「ややそう思う」の合計が5割を超え、〈男性〉でも、30歳以上64歳以下で5割を超えている。

正規・非正規の別で見ると、〈正規〉は「そう思う」と「ややそう思う」の合計が5割を超えている。

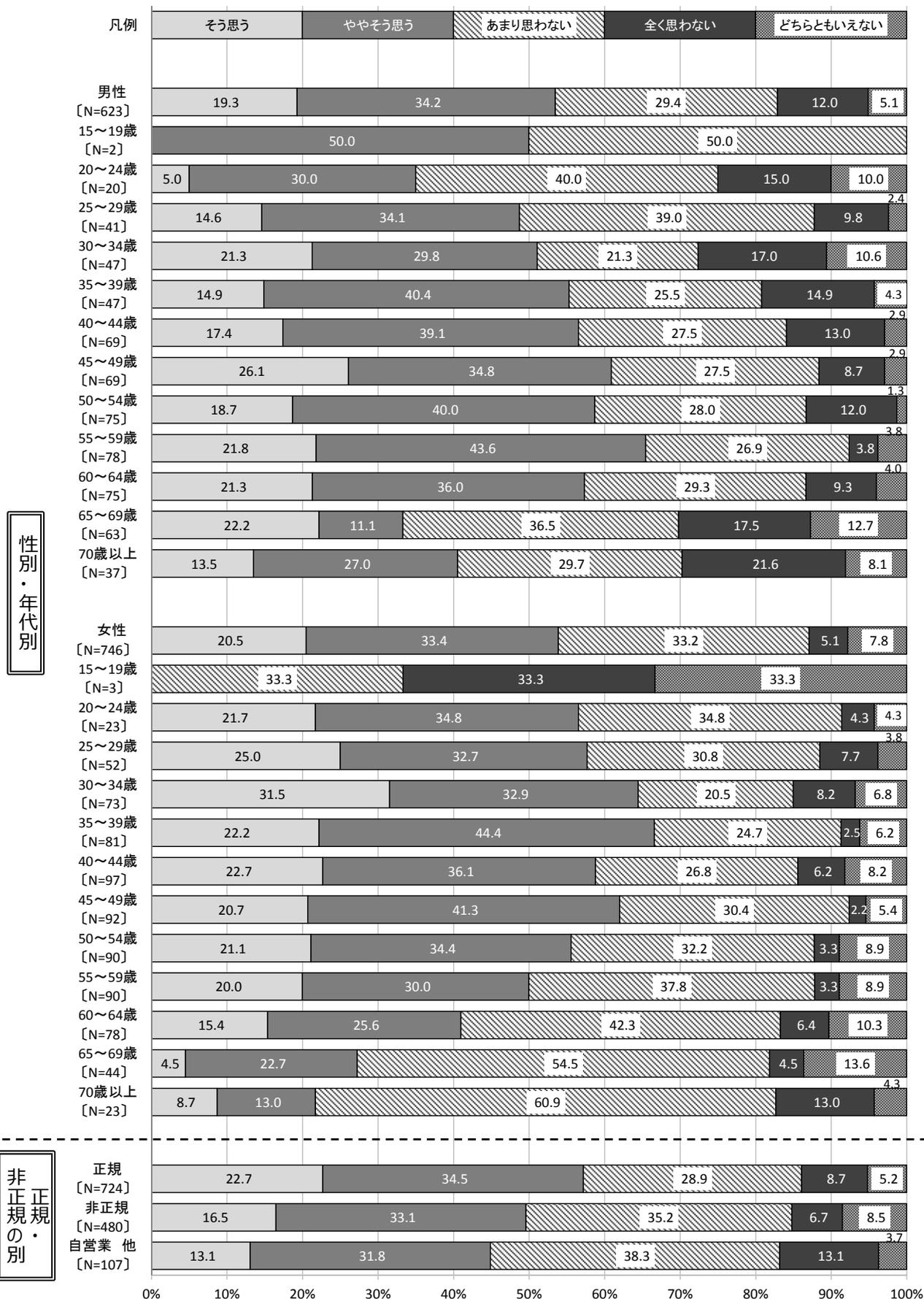
■女性であることが不利だと思うか〔回答数=1,377〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（女性であることが不利だと思うか）】



(10) 不利だと思う理由

… (10) 不利だと思う一番の理由は何ですか。【1つに○】 …

不利だと思う一番の理由については、「出産後に仕事を続けにくい」が37.5%と最も多く、次いで「給与・待遇に差を感じる」(21.3%)、「業務が限られる」(17.1%)の順となっている。

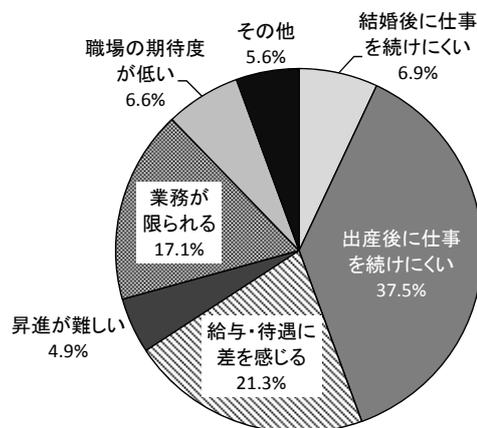
前回調査との比較では、「出産後に仕事を続けにくい」、「給与・待遇に差を感じる」の割合が増加している。

性別で見ると、〈女性〉は〈男性〉に比べ、「給与・待遇に差を感じる」の割合が高く、「業務が限られる」の割合が低くなっている。

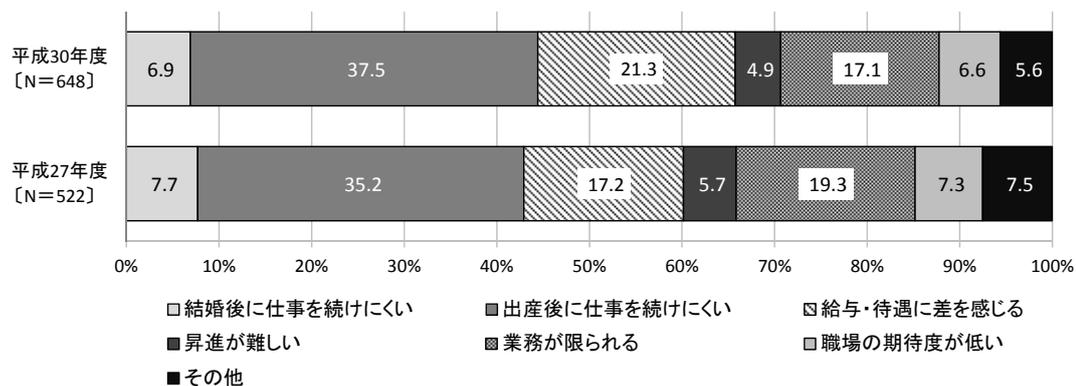
性別・年代別で見ると、〈男性〉では、〈30～34歳〉で「出産後に仕事を続けにくい」が6割を超えている。〈女性〉では、25歳以上49歳以下と55歳以上64歳以下で「出産後に仕事を続けにくい」の割合が最も高いが、50歳以上は「給与・待遇に差を感じる」の割合も高くなっている。また、〈男性〉〈女性〉ともに60歳以上で「業務が限られる」の割合も高くなっている。

正規・非正規の別で見ると、いずれも「出産後に仕事を続けにくい」の割合が最も高いが、〈非正規〉は〈正規〉、〈自営業 他〉に比べ、「給与・待遇に差を感じる」の割合が高くなっている。

■ 不利だと思う理由（回答数=648）



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（不利だと思う理由）】

